

事務事業名	観光協会支援事業		担当	産業部 商工観光課 観光係	
政策名	3	「にぎわいづくり」～まちの活力アップ！～	施策名	4	観光の振興
成果指標	名称		単位	2 年度実績	
	主催及び支援したイベント事業 真岡市を訪れた観光客		件 人	4 1,784,577	
事業概要	観光協会は、市内の名所、史跡並びに郷土の物産を紹介宣伝し、本市観光の推進を図るため設立された。 観光協会職員は、当初、嘱託職員2名体制であったが、平成25年1月から1名、平成25年4月から1名の計2名の職員を新たに採用し、嘱託職員2名とあわせて計4名の体制となった。その後、新たに2名の職員を採用し、平成26年10月の久保記念観光文化交流館の開館に合わせ事務所を久保邸に移し、現在は6名の体制で事業を行っている。 平成26年度には会則の改正に伴い、会長は真岡商工会議所からの推薦者をもって充てらることとなった。（改正前の会長は、市長） 平成30年度から本協会の指定管理が新たに加わり、観光協会事務局長兼本協会館館長や嘱託職員を増員するなど、現観光協会の体制強化を図っていく。 平成30年度はD C本番であり、本市の3大観光資源である「いちご」「SL」「真岡本橋」を活かした取り組みを展開し、認知度向上に努める。 平成30年度に国の地方創生拠点整備交付金を活用し増築したショップ約77平米とウッドデッキ約93平米の管理運営事務が増加した。平成31年4月27日にリニューアル記念式典実施。 同様に久保記念観光文化交流館にもウッドデッキを敷設し、観光客や来場者が集い居る空間を創出した。 ・主な観光協会の事業内容 ・観光情報の発信・桜まつり、夏まつり、花火大会等のイベント ・真岡もめん製品をはじめとした物産品販売・物産会館の管理運営を行っている。				
2 年度実績・成果・課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定したイベント事業等が中止となった。（35件のうち31件中止） 観光による誘客を促進するため、観光協会の組織、役割の強化を図る。				
今後の方向性と具体策	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】				